

公安委員会定例会議(第26回)の開催状況

第1 日 時 令和7年10月8日(水)
午後2時10分 ～ 午後5時35分

第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長、
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 決裁事項

- (1) 公安委員会定例会議会議録
総務室から、令和7年第25回公安委員会定例会議会議録について伺いがあり了承した。
- (2) 犯罪被害給付金の裁定
総務室から、犯罪被害給付金の裁定について伺いがあり了承した。
- (3) 審査請求の申立て
警務部から、審査請求の申立てについて伺いがあり了承した。
- (4) 指定自動車教習所に対する行政処分
交通部から、指定自動車教習所に対する行政処分について伺いがあり了承した。
- (5) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞
交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、18件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

2 報告事項

- (1) 令和7年「秋のプロムナードコンサート」開催予定
総務室長から、「秋のプロムナードコンサート」開催予定について報告があった。
委員から「コンサートには多くの聴衆が訪れ演奏に聞き入っており、非常に良い取組であるため、これからも継続して欲しい」との発言があった。
委員から「演奏曲の選曲もよく、防犯や交通安全講話も行われるとのことであり、警察の取組に理解を得られる良いコンサートにして欲しい」との発言があった。
委員から「屋外でのコンサートは警察と県民とのふれあいの場であり、多くの人に楽しんでもいただけるため、開催を楽しみにしている」との発言があった。
- (2) 令和7年度警察官（高校卒程度）等採用試験の受験状況
警務部長から、警察官等採用試験の受験状況について報告があった。
委員から「様々な採用募集活動を行っているが、試験申込者は減少傾

向にある。過去の取組を検証し、改善されるよう取り組んで欲しい」との発言があった。

委員から「一般企業に務める人の中にも警察官を志している人は一定数いると思われる。広報活動を充実させ、転職者の採用拡大を図り、人材確保に努めて欲しい」との発言があった。

委員から「採用募集活動は依然として厳しい状況にあるが、社会経験のある転職者の採用枠を拡大するなどして多様な人材の確保に取り組んで欲しい」との発言があった。

(3) 令和7年度愛媛県殉職警察職員・警察協力殉難者慰霊祭の実施

警務部長から、愛媛県殉職警察職員・警察協力殉難者慰霊祭の実施について報告があった。

委員から「殉職は非常に悲しく痛ましいものである。慰霊祭開催日には、参列者だけでなく全ての警察職員が哀悼の意を表せる機会を設けて欲しい」との発言があった。

委員から「殉職等された方を追悼するため、礼式に則った厳粛な式にして欲しい」との発言があった。

委員から「慰霊祭では、殉職等された方に心より追悼の意を捧げたいと思う」との発言があった。

(4) 西条・新居浜祭典に伴う雑踏警備実施

生活安全部長から、西条・新居浜祭典に伴う雑踏警備実施について報告があった。

委員から「祭典における様々な問題に対し、諸対策を講じており、本年も事故のないよう取り組んで欲しい」との発言があった。

委員から「祭典での暴力行為は、近年、世間から厳しい目が注がれているため、不法行為は厳正に取り締めて欲しい」との発言があった。

委員から「警備が必要な場所には各種対策を講じて、皆が楽しめる祭典として欲しい」との発言があった。

(5) 右翼の動向と対策

警備部長から、右翼の動向と対策について報告があった。

委員から「右翼の動向等については理解した。不法行為に対しては適正に対処して欲しい」との発言があった。

委員から「悪質な事案や不法行為に対しては、しっかりと取締りを行って欲しい」との発言があった。

委員から「説明を受け現状を理解した。県民の平穏を脅かすような不法行為があれば、厳正に対処して欲しい」との発言があった。

(6) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

(7) 警告の実施結果

生活安全部から、警告の実施結果に関する報告があった。

(8) 請求妨害防止命令の発出

刑事部から、請求妨害防止命令の発出に関する報告があった。

(9) 重体ひき逃げ事件の検挙（松山東署）

交通部から、重体ひき逃げ事件の検挙に関する報告があった。

以 上